

# 学校だより

前期学校評価特別号

令和7年9月

野々市市立野々市小学校



## 学校評価に関するアンケート結果の報告

7月に保護者の皆様には「学校評価に関するアンケート」にご回答をいただきありがとうございました。このアンケートは、保護者の皆様、児童、教職員のそれぞれに対して行っています。アンケート結果から、日々、ご家庭でもお子様の学習や生活を支えてくださっていることに改めて敬意と感謝を申し上げます。今回の結果を分析・考察し、学校と家庭が協力し合いながら、よりよい教育活動を進めてまいります。  
★は児童アンケートにおける令和6年度後期学校評価との比較です。  
◎:よい ○:ややよい ー:同程度 △やよくない ▲よくない

No.	対象者	評価内容	評価内容				割合					★	取り組みについて
			A	B	C	D	0%	20%	40%	60%	80%		
1	児童	授業が分かる	57%	38%	4%	1%	57%	38%	4%	1%	1%	★	どの子も「わかった」「できた」「がんばれた」という満足感や充実感もてるように、1時間1時間の授業のねらいを明確にし、授業終末に到達してほしい児童の姿を具体的に想定し授業に取り組んでいきます。
2	児童	課題の解決に向けて、考えたり、取り組んだりしている。	48%	44%	7%	2%	48%	44%	7%	2%	2%	◎	どの子も、学習に対しての見通しや課題意識をもって動き出せるようにするために、教師や友達の話をして「聴く」ことにも力を入れ、そのために導入における教師の働きかけを工夫していきます。
	教職員	重点1に基づいて児童が動き出せるように課題の設定を工夫している	35%	63%	3%	0%	35%	63%	3%	0%	0%		
3	児童	学んだことを生かして、まとめたり、ふり返ったりしている。	54%	37%	8%	1%	54%	37%	8%	1%	1%	◎	学習の単元や授業の1時間でつきたい力を明確にし、子どもたちが学んだことや考えたことを自分の言葉でまとめたり、振り返ったりすることができるようになります。そのために、各教科での学びを通して、ものごとをどう捉え、どう考えるかといった「見方・考え方」を働かせた思考の流れやゴールの姿を子どもたちの言葉で具体的に描きながら指導に当たります。
	教職員	重点2に基づいて児童が見方・考え方を働かせてゴールに向かうための手立てを工夫している。	33%	68%	0%	0%	33%	68%	0%	0%	0%		
4	児童	授業でクロームブックを使って情報を集めたり、まとめたりしている。	67%	25%	6%	2%	67%	25%	6%	2%	2%	△	1学期に行った取組に加え、2学期以降も、子どもたちが主体的に学ぶためのツールとして活用できるよう、学習に取り入れていきます。
	教職員	クロームブックを活用して、考えを表現する授業を実施している。	15%	58%	28%	0%	15%	58%	28%	0%	0%		
5	児童	グー・ベタ・ピンで学習している。	23%	49%	22%	6%	23%	61%	22%	6%	6%	-	「グー・ベタ・ピン」とは授業中の姿勢を表す学校の中での言葉です。グー:机と体の感覚が撞りこぶし1つ分 ベタ:足の裏を床につける ピン:背筋をのばす 2学期始業式の場でよい姿勢に対する意識を高め、学期開始3日間を「スタートダッシュの3日間」とし、重点的に取り組んでいきます。特に、学習のスタート時や活動の切り替え(特に書く活動)の前に、「目と耳と心を使って聴く」を合言葉に声かけを行っていきます。また、運動会練習や社会科見学等での話を聴く場を通して、全職員で聴く指導を継続し、よい児童の姿を挙げて褒めていきます。
	教職員	授業で姿勢を見取り、グー・ベタ・ピンの声掛けを徹底している。	45%	50%	5%	0%	45%	50%	5%	0%	0%		
6	児童	自分からあいさつやえしやくをしている。	57%	33%	8%	3%	57%	33%	8%	3%	3%	◎	保護者アンケートの肯定的な評価が、昨年度後期に対して、大きく向上していました。今後も、学校・保護者・地域の連携を図りながら、あいさつの大切さを伝えていきます。また、日々の生活の中で、あいさつをしたという実感を積み重ねる働きかけとして、生活目標の取組を数値目標を掲げるなどして可視化できる取組とし、さらに委員会活動と連携を図りながら、校内のあいさつの向上を行っていきます。
	保護者	お父さんは自分から大人(家族や見守り隊、バスの運転手、地域の人等)にあいさつしている。	60%	34%	4%	1%	60%	34%	4%	1%	1%		
7	児童	廊下は走らず、右側を歩いている。	41%	46%	11%	3%	41%	46%	11%	3%	3%	-	廊下を走ってはいけないと分かっているもつついってしまう子どもたちに ①止める ②指導する ③見届け、褒める の順で、教職員全員が足並みをそろえて指導を行っていきます。
	教職員	廊下を走っている児童を止め、歩くよう指導している。	78%	23%	0%	0%	78%	23%	0%	0%	0%		
8	児童	友達をさすつけない温かい言葉で話している。	59%	35%	5%	2%	59%	35%	5%	2%	2%	○	言葉使いに対しての子どもたちの意識は向上しています。今後の手立てとして、子どもたちが自分の言葉使いに対して、自信をもって「できている」と回答できるよう、あたたかい言葉が聞こえた際に全体に広めたり、学級であたたかい言葉集めをしたりしながら、子どもたちとよりよい言葉使いに対しての共通理解を図っていきます。
	保護者	お子さんに温かい言葉で接している。	30%	50%	16%	3%	30%	50%	16%	3%	3%		
9	児童	シャツを入れ、ズックをはくなど、身なりに気をつけている。	71%	22%	5%	2%	71%	22%	5%	2%	0%	-	全教職員が常に服装について意識し、声かけを続けていきます。教室、廊下などでの声かけに加えて、全クラスで以下を徹底します。 ○安全帽・・・終わりの会で、さよならの前に全クラス全員着帽で下校させる ○ネーム・・・つけていない児童への声かけ ○シャツ・・・授業はじめての授業者の声かけをする ○ズック・・・止まって直させる声かけをする
	教職員	身だしなみ(シャツイン、ズックのかかと入れ)を見逃さず指導している。	60%	35%	5%	0%	60%	35%	5%	0%	0%		
10	児童	係や当番、委員会などの仕事に、自分から進んで取り組んでいる。	62%	32%	4%	2%	62%	35%	3%	2%	0%	-	1学期は、全校やクラスみんなのためにがんばる姿をその場で認め、褒めることで価値づけたり、係や委員会ごとの打合せの時間を見通しをもちながら定期的に設定し、意欲的に活動に取り組んだりすることで、子どもたちの意識も高まり、主体的な姿もたくさん見られました。児童集会でも、児童が全校の前で発表する経験を通して、満足感や達成感、自分たちでよりよいものを創り上げていく良さを実感できたと考えます。子どもたちの活動の目的やねらいを考えさせる場を大切に創造的活動の工夫につなげていくことで、子どもたちの主体的な姿を発揮できるようにしていきます。
	教職員	児童が学校や学級をよりよくしようとしている姿(係、当番、委員会、クラブ、友達へのかかわり、お手伝い等)を見つけて、ほめている。	78%	23%	0%	0%	78%	23%	0%	0%	0%		
11	児童	学校は楽しい。	64%	24%	8%	4%	64%	24%	8%	4%	4%	○	保護者の肯定的な評価が昨年度後期に比べ、向上が見られました。今後も、日々の授業や学校行事への子どもたちの主体的な姿を大切にしていきます。また、日頃からの子どもたちの言動や表情を観察し、教職員が子どもたちのサインを感じた時は、聞き取りと理解を迅速に行います。子どもたちの悩みや不安、困り感に寄り添い、具体的な問題点を見つけ、改善策を共に考え、学年教員や必要に応じて全教職員で共有していきます。
	保護者	お父さんは、楽しそうに学校に通っている。	87%	11%	2%	0%	87%	11%	2%	0%	2%		
12	児童	自分にはよいところがあると思う。	53%	31%	9%	7%	53%	31%	9%	7%	7%	△	学習や学校行事等の活動を通じた自分の成長のふり返りを行い、子ども自身が成長を実感できるようにしていきます。また、教師は子どもたちと積極的にかかわり、できたこと(結果)やがんばったこと(経過)を時間を空けずに伝えていきます。ご家庭での賞賛、励ましもお願いします。
13	保護者	お父さんは朝ご飯を食べている。	58%	40%	2%	0%	58%	40%	2%	0%	0%	△	子どもたちの望ましい生活習慣が身につくよう、ご家庭と学校とで連携した働きかけを行っていきましょう。今後も、学校だよりや学校ホームページによる情報提供、学校公開等を継続して参ります。今後もtetoru配信が中心となりますが、確実に保護者の皆様へ届くよう取り組んでいきます。また、安全な学校づくりのために引き続き、来校の際、名札着用(学校より配付)を保護者をお願いします。
14	保護者	学校は、学校だよりや学校公開等を通じて、「地域と共にある学校づくり」に努めている。	32%	61%	7%	0%	32%	61%	7%	0%	0%		

A あてはまる  
B だいたいあてはまる  
C あまりあてはまらない  
D あてはまらない